

主催

J-SRI 研究会

共催

アグリコクーン

国際農業と文化フォーラムグループ

ACT 17

農学における情報利用研究フォーラムグループ

後援

東京大学大学院農学生命科学研究科／東京大学大学院新領域創成科学研究科

協賛

AGS / ASNET / TIGS / 土壌物理学会 / 農業土木学会 (予定)

平成 19 年 7 月 2 日 (月) 14:30-16:30

東京大学農学部 弥生講堂 一条ホール

# OUTLOOK for the New Rice Cultivation SRI

toward Sustainable Development and Environmental Conservation

## 新稲作技術

# エス・アール・アイの展望

—持続可能な開発と環境保全のために—

SRI (エス・アール・アイ: System of Rice Intensification) は、1983 年にマダガスカルで発明され、1999 年以降広く世界で知られるようになったイネの大幅な単収増をもたらす低投入かつ持続的な新稲作技術である。現在までに約 20 カ国で実証試験が行われており、多くの開発途上国で普及が進みつつあるが、SRI によってなぜイネの収量が増加するかについては、科学的に解明されていない現状にある。

そこで、この SRI に関する基礎情報を収集するとともに、農学分野における科学的に未解明な諸問題に取り組む学術調査研究を推進することを目的として、2007 年 4 月に J-SRI 研究会が設立された。本企画は、J-SRI 研究会の主催により、SRI の普及に多大な貢献を今もなお果たし続けているコーネル大学名誉教授の Norman Uphoff 氏を招聘し、「持続可能な開発と環境保全にむけての新稲作技術 SRI の今後の展望」についての講演会を開催するものである。

本講演会は、日本国内の農学系研究者や学生、そして開発実務の専門家にとっても有益であると思われる。

## プログラム

14:30-14:35	開会の辞 司会：溝口勝 J-SRI 事務局長
14:35-14:40	挨拶 生源寺真一 研究科長 (予定)
14:40-15:00	J-SRI 研究会の紹介 山路永司 J-SRI 代表
15:00-15:10	講演者の紹介 佐藤周一 DISIMP 所長
15:10-16:10	講演 Prof. Norman Uphoff (コーネル大学)
16:10-16:30	質疑応答 座長：小林和彦 農学国際専攻・教授
16:30	閉会の辞 溝口勝 J-SRI 事務局長
17:00	情報交換会 農学部生協にて (会費 2,000 円、学生 1,000 円)

講演言語：英語 (通訳なし)

趣旨

お問い合わせ

アグリコクーン 産学官民連携室

東京大学農学部 3 号館 105A 電話：03-5841-8882

E-mail : office@agc.a.u-tokyo.ac.jp

<http://www.agc.a.u-tokyo.ac.jp/>